

日立CM編集システム

ACVES

シリーズ



●CM素材は1種類1本

●CM画面はいつも清新

●確実な放送

■特長

- 信頼度の高い2インチ4ヘッド方式VTRをベースにしています。
- 本システム専用開発されたテープデッキを使用し、集中テープデッキ構成としていますので、下記のような特長があります。
 - ①無調整：スーパーハイバンド方式および自動モニタ装置の採用
 - ②高速検索：エアーキャプスタン、リールサーボおよびDCヘッドモニタ方式の採用
 - ③マザーテープの長寿命化：エアーガイド、エアーキャプスタン方式および非磁性体面ガイド方式の採用
 - ④低騒音：低電力設計、密閉構造のテープデッキ（約54フォンを実現）
 - ⑤専有面積が小さい：2デッキ1ラック方式を採用
- テープ・ヘッドの保守運用費が安い。
- 検索中、ヘッドとテープが無接触なのでヘッド寿命が長い。
- 日立の総合力を発揮して、EDPSからCMバンク（ACVES）まで一貫したシステム設計が可能です。また、納入後のアフターサービス体制も万全です。

■システム例

		システム例 1	システム例 2	備 考
前提条件	1. 素材本数 (内・静止画)	1,000 (200)	2,000 (400)	(15秒換算)
	2. 1本化対象CM	SB	SBおよびPT	
	3. オンエア実時間	1時間	2～2.5時間	
	4. 1本化処理時間	約3時間	約4時間	
機器構成	1. マザーVTR	2 (シングル)	8 (デュアル)	
	2. バッファVTR	1	1	
	3. TBC	1	2	
	4. 関連スイッチャ	1 式	1 式	
	5. コンピュータ	1 式	1 式	
	6. 制御卓	1	1	
	7. モニタ類	1 式	1 式	
	8. 1本化VTR	1	2	

●マザーテープ収容素材本数（1デッキ当り）

MAX 450本（1CM15秒換算）

●マザーVTRの構成

システム例1は、経済性を考慮してマザーテープ1本のシングル方式です。システム例2は、1本化作業時間の効率化と信頼度向上を図るため、同一素材のマザーテープ2本を使うデュアル方式です。

●バッファVTR

マザーテープの改稿作業を能率よく行うためにバッファVTRを採用いたします。

●1本化VTR

1本化VTRは2インチ方式、1インチ方式のいずれのVTRでも構成可能です。

■定格

- 電源……………AC100V単相、±5%以内
- 周囲温度……………10～35℃ ●湿度……………30～85%
- 消費電力……………システム例1:12kVA システム例2:20kVA

■システム例

		システム例 1	システム例 2	備 考
前提条件	1. 素材本数	1,000	2,000	(15秒換算)
	(内・静止画)	(200)	(400)	
	2. 1 本化対象CM	SB	SBおよびPT	
	3. オンエア実時間	1 時間	2～2.5時間	
機 器 構 成	4. 1 本化処理時間	約 3 時間	約 4 時間	
	1. マザーVTR	2 (シングル)	8 (デュアル)	
	2. バッファVTR	1	1	
	3. TBC	1	2	
	4. 関連スイッチャ	1 式	1 式	
	5. コンピュータ	1 式	1 式	
	6. 制御卓	1	1	
	7. モニタ 類	1 式	1 式	
	8. 1 本化VTR	1	2	

●マザーテープ収容素材本数（1デッキ当り）

MAX 450本（1CM15秒換算）

●マザーVTRの構成

システム例1は、経済性を考慮してマザーテープ1本のシングル方式です。システム例2は、1本化作業時間の効率化と信頼度向上を図るため、同一素材のマザーテープ2本を使うデュアル方式です。

●バッファVTR

マザーテープの改稿作業を能率よく行うためにバッファVTRを採用いたします。

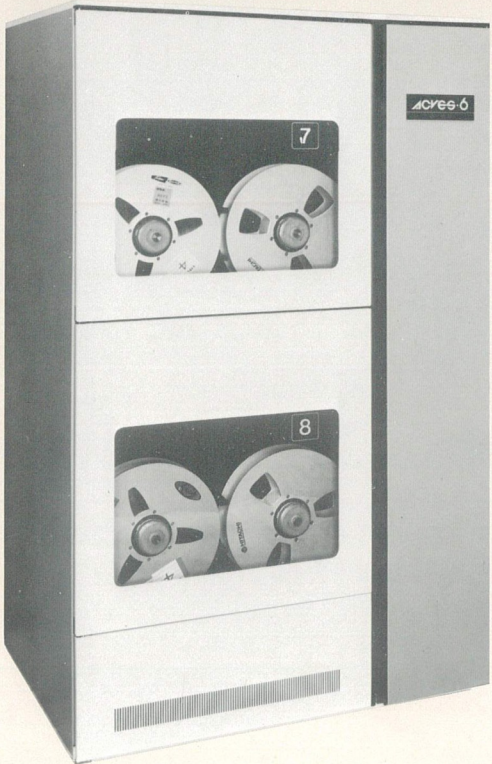
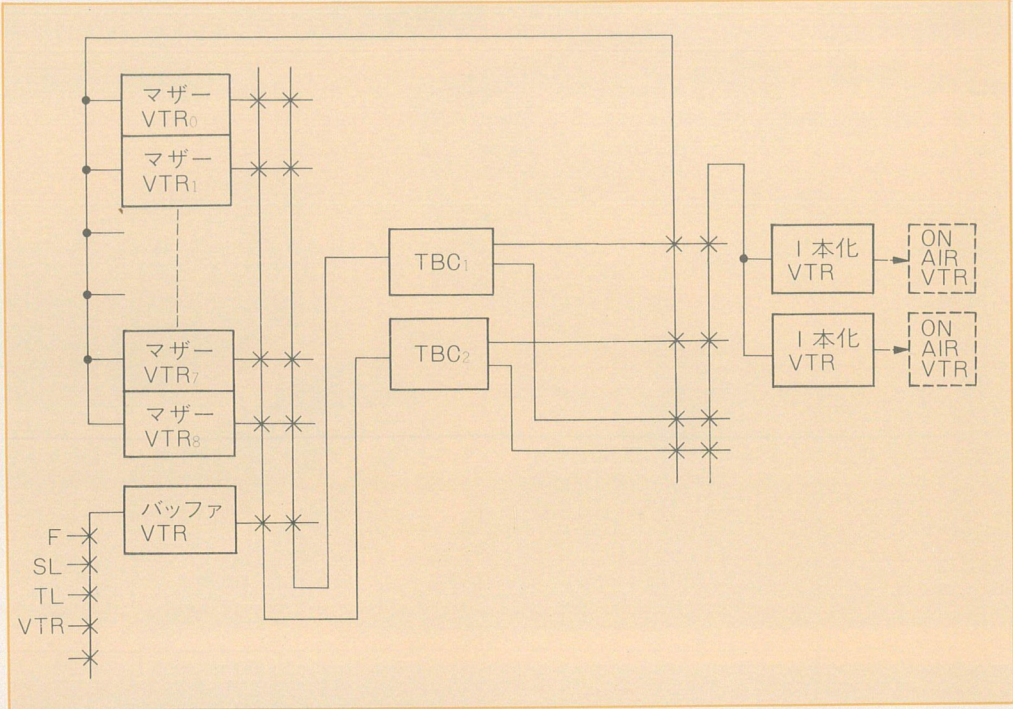
●1本化VTR

1本化VTRは2インチ方式、1インチ方式のいずれのVTRでも構成可能です。

■定格

- 電源……………AC100V単相、±5%以内
- 周囲温度……………10～35℃ ●湿度……………30～85%
- 消費電力……………システム例1:12kVA システム例2:20kVA

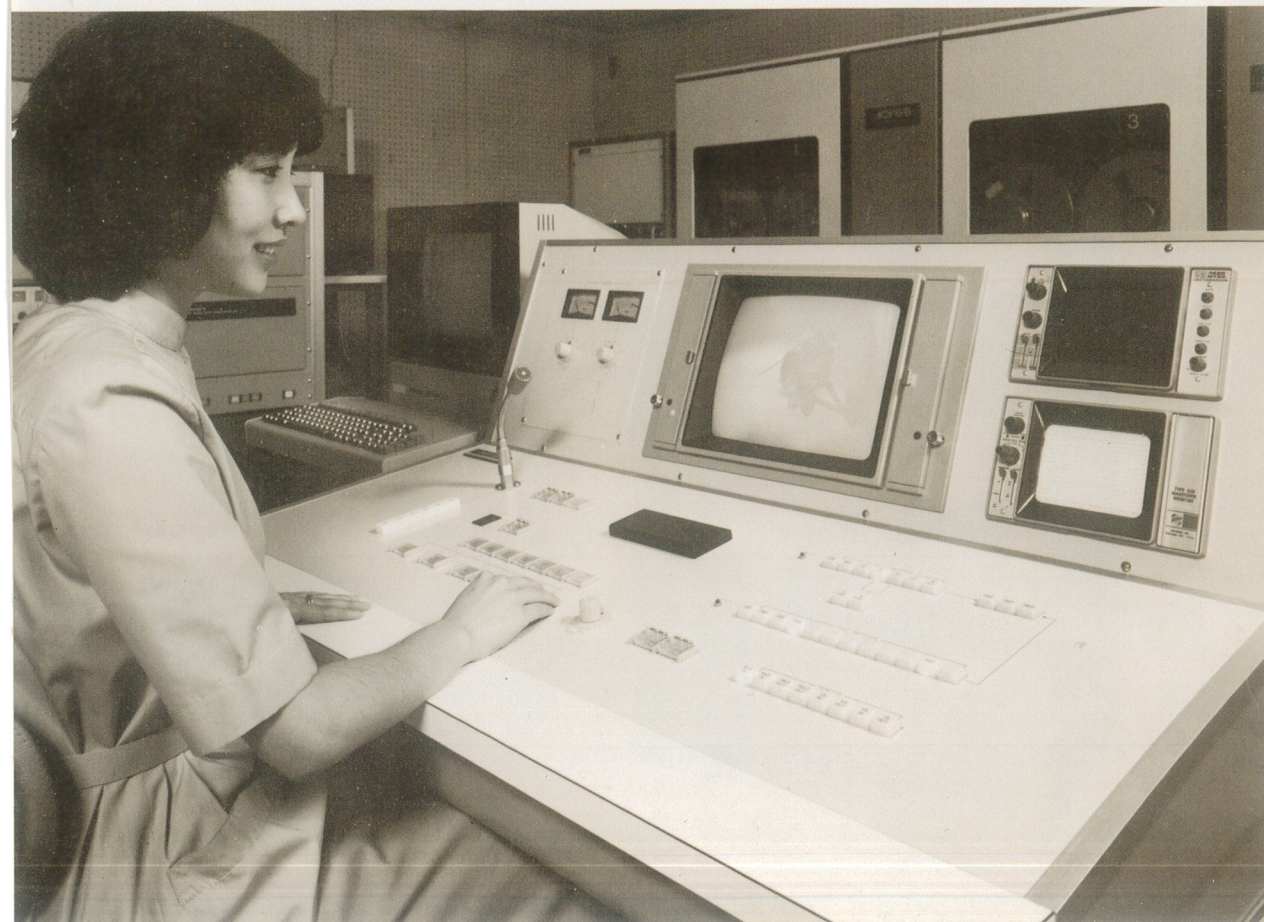
■日立ACVESシリーズ系統図



■マザーVTR ACV-10



■1インチヘリカルVTR, HR-200



日立電子株式会社

本社 〒101 東京都千代田区神田須田町1丁目23番2号(大木須田町ビル)
 茨城販売所 〒310 水戸市三の丸1丁目4番73号(水戸三井ビル)
 静岡販売所 〒420 静岡市両替町2丁目4番地(日映森岡ビル)
 長野販売所 〒380 長野市岡田町3番2号(中沢ビル)
 沖縄事務所 〒900 沖縄県那覇市松山1丁目1番8号(星ビル)
 大阪営業所 〒541 大阪市東区北浜4丁目6番地(日生日立ビル)
 九州営業所 〒810 福岡市中央区大名2丁目4番22号(新日本ビル)
 名古屋営業所 〒460 名古屋市中区栄3丁目17番15号(パックスビル)
 札幌営業所 〒060 札幌市中央区北二条西4丁目1番地(札幌三井ビル)
 釧路出張所 〒085 釧路市北大通8丁目4番地(道銀ビル)
 東北営業所 〒980 仙台市一番町2丁目3番20号(第3日本オフィスビル)
 青森出張所 〒030 青森市本町2丁目9番17号(青森中小企業会館)
 郡山出張所 〒963 郡山市大町2丁目21番17号(作田電機内)
 秋田出張所 〒010 秋田市八橋字戌川原64番2号(秋田県農協ビル)
 盛岡出張所 〒020 盛岡市中央通3丁目7番1号(岩手政経ビル)
 北陸営業所 〒920 金沢市此花町6番10号(金沢ビル)
 中国営業所 〒730 広島市中区八丁堀1番17号(広島大本ビル)
 岡山出張所 〒700 岡山市下石井1丁目1番地3号(日本生命岡山第2ビル)
 松江出張所 〒690 松江市内中原町20番地1号(城南ビル)
 四国営業所 〒760 高松市亀井町7番地(高松電気ビル)
 高知駐在所 〒780 高知市潮新町2丁目27番地

電話 (03) 255-8411
 電話 (0292) 27-4820
 電話 (0542) 51-2011
 電話 (0262) 28-2156
 電話 (0988) 68-8176
 電話 (06) 203-0951
 電話 (092) 721-1570
 電話 (052) 262-0311
 電話 (011) 241-2796
 電話 (0154) 24-2747
 電話 (0222) 66-1811
 電話 (0177) 75-1371
 電話 (0249) 34-0691
 電話 (0188) 64-2247
 電話 (0196) 51-8858
 電話 (0762) 65-7098
 電話 (0822) 27-2731
 電話 (0862) 23-2346
 電話 (0852) 26-5139
 電話 (0878) 61-6363
 電話 (0888) 31-7760

●仕様および外観は改良のため変更することがあります。